

研修報告

総務産業建設常任委員会

- 期間 5月8日～10日
- 場所 北海道まつまえ町

研修テーマ

まつまえ町の 観光イベントの研究

松前さくらまつり

松前さくらまつりは、北海道松前観光物産協会が主催し、当会が運営している。期間中の入込客数は15万人前後で推移し、町にとって、外貨を稼ぐ経済効果をもたらす一大イベントと位置付けている。

松前公園ライトアッププロジェクトでは、クラウドファンディングで支援金を募集したが、目標金額に届かなかつたため、協賛金を充て実施したが、資金調達に苦労

した。クラウドファンディングの媒体、寄附方法に課題はあったが貴重な財源を確保することができた。効果として、さくら専用のLED照明機器を使ったライトアップの話題性もあり夜間の集客につながった。



その他のイベント

令和2年のコロナ禍に、癒しの場を提供しようと、松前藩屋敷の水路に紫陽花を浮かべる「浮き紫陽花」を開催したところ、SNSで反響を呼び大きな集客につながった。

また、町ならではの優位性をポイントに「北海道で唯一の城下町」「250種類を誇るさくらの里」「本マゴロ・ウニ・アワビ・岩ノリ等の海の幸」をアピールするため、四季折々にイベントを開催している。

- 春：松前さくらまつり
- 夏：松前城下時代まつり
松前藩屋敷浮き紫陽花
- 秋：松前城下マゴロまつり
- 冬：松前ウインター
フェスティバル

観光協会

本年4月に松前観光協会と松前物産協会が合併し、新たに「一般社団法人北海道まつまえ観光物産協会」を設立した。

合併するに至った経緯は、人口減少に伴う会員数の減少と、役員の担い手不足が顕在化していること。観光と物産は車の両輪のようなもので合併することで連携しやすくなること。また、観光協会と物産協会の合併や法人化は、全国的な流れになっていることを背景に、組織の基盤強化を目的に合併した。

今後に向けて

本町は観光資源が少ないため、観光協会を設立したばかりであり、観光地である姉妹都市まつまえ町には遠く及ばない。

まつまえ町の取組を参考に、経済活性化と町内外への魅力発信を推進できるよう、行政や観光協会に提言していきたい。また、本町らしい観光資源を発掘・活用、誘客宣伝活動や観光情報の発信の推進などについても提言していきたい。

